

第 462 回 構造懇話会 平成 25 年度 例会のご案内

構造懇話会の運営に際しまして、日頃よりご支援賜り、誠に有難うございます。
ご案内が遅くなりましたが標記の平成 25 年度 例会を下記のとおり開催いたします。
つきましては、多数ご出席下さいますようお願い申し上げます。

記

1. 日 時 平成 25 年 10 月 29 日 (火) 13:30~16:30
開始時間にご注意ください。

2. 場 所 神戸市教育会館 404号室
神戸市中央区中山手通 4-10-5 TEL 078-222-4111

3. 議 題

1) 例会 ①部 13:30~14:25

『鉄筋の溶接・圧接継手に関する指針作成の経緯と裏話』

神戸大学 大学院工学研究科 建築学専攻
准教授 大谷 恭弘 氏

休憩 14:25~14:30

2) フリートーク 14:30~15:25

『本州四国連絡橋の保全 ~200年以上の長期にわたり利用される橋を目指して~』

本州四国連絡高速道路(株) 保全部 橋梁保全課
課長 森山 彰 氏

休憩 15:25~15:35

3) 例会 ②部 15:35~16:30

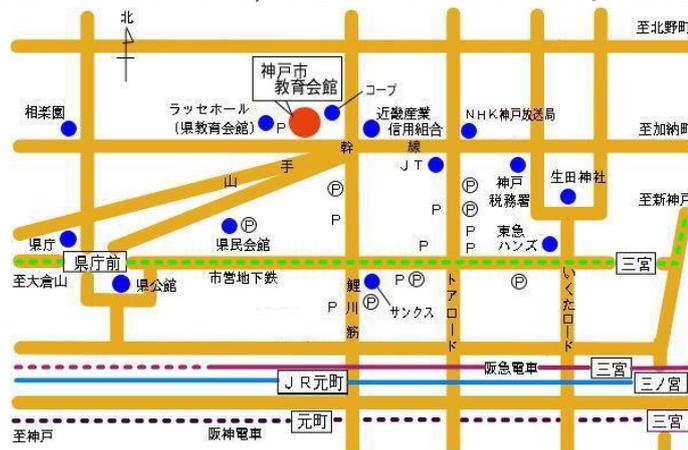
『第二京阪道路におけるプレキャストPC床版施工事例の紹介』

株式会社エース 技術三部 橋梁グループ
次 長 河井 悟 氏

[連絡先] 〒530-0012 大阪市北区芝田1-4-8 北阪急ビル4階
阪急設計コンサルタント株式会社 榎田周平

TEL: 06-6359-2755 / FAX: 06-6359-2762 / e-mail: kushida-s231@sekkei.hankyu.co.jp

[案内図]



第 462 回 構造懇話会 例会での報告概要

1. 『鉄筋の溶接・圧接継手に関する指針作成の経緯と裏話』

①報告者

神戸大学 大学院工学研究科 建築学専攻
准教授 大谷 恭弘 氏

②報告内容

「鉄筋定着・継手指針[2007年版](コンクリートライブラリー128):土木学会」に関して報告者が担当していた「溶接・圧接」の指針作成における経緯と裏話、また指針発行後の関連するトピックスについて紹介する。

フリートーカーキング

『本州四国連絡橋の保全 ～200年以上の長期にわたり利用される橋を目指して～』

①報告者

本州四国連絡高速道路(株) 保全部 橋梁保全課
課長 森山 彰 氏

②報告内容

代替路線のない重要な幹線道路である本州四国連絡橋は、腐食環境の厳しい海上に架けられていることから、維持管理においては、劣化の初期段階で補修することにより、長寿命化とライフサイクルコスト(LCC)の最小化を図る予防保全を推進している。

ここでは、予防保全を実現するために行っている、点検、健全度評価他について紹介するとともに、コンクリート構造物や吊橋ケーブル類他の保全の現状について紹介する

2. 『第二京阪道路におけるプレキャストPC床版施工事例の紹介』

① 報告者

株式会社エース 技術三部 橋梁グループ
次長 河井 悟 氏

② 報告内容

近年、鋼道路橋において、床版の耐久性の向上や床版支間の拡大、床組の省略などによる合理化を目的として鋼げたにプレキャストPC床版を組み合わせる形式を採用する事例が増えつつある。このプレキャストPC床版の架設方法には、現地状況に合わせて、トラッククレーン架設、橋上架設機架設などがある。本報告では、2010年に開通した第二京阪道路におけるプレキャストPC床版工事の中で、架設工法を中心に施工事例を紹介する。